



題字 埼玉県立大宮光陵高等学校 3年生 須永 もも香 様

## 埼玉県議会主催

### 県内一斉防災訓練実施のお知らせ

# シェイクアウト埼玉に参加をしませんか

日時 令和5年9月1日(金) 11時58分

関東大震災(大正12年9月1日11時58分発災)から100年

防災週間の8/30~9/5の間でも実施可能

場所 あなたがいるその場所で



埼玉県のマスコット「コバトン」[さいたまっす]

関東大震災から100年、埼玉県議会では、地域の皆さまを代表する埼玉県議会議員が県民、企業、団体の皆様に訓練参加への呼びかけを行い、シェイクアウト埼玉を行います。訓練へのご参加、よろしくお祈りします。

埼玉県議会議長 立石泰広

参加者募集!

参加申し込み方法など  
詳細は8面へ

シェイクアウト訓練とは?



プラスワン

### シェイクアウト訓練のあとは

- 災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用
- マイ・タイムラインの作成
- ハザードマップの確認
- 避難場所の確認
- 避難経路の確認
- 備蓄品の確認 など

3 動かない

1分程度で終了

## 主な内容

1 面

- ◆シェイクアウト埼玉
- ◆議長あいさつ
- ◆5月臨時会の概要
- ◆6月定例会の動き
- ◆6月定例会の議決の概要

2・3 面

- ◆一般質問

4・5 面

- ◆埼玉県議会議員名簿

6・7 面

- ◆委員会レポート
- ◆意見書・決議
- ◆主要会派から
- ◆県議会クイズ プレゼント付き!
- ◆Twitterフォローキャンペーンを開催中!

8 面

- ◆議長・副議長に聞く
- ◆シェイクアウト埼玉(参加登録)
- ◆フォトコンテスト作品募集中!

マチイロ

議会だよりをスマホで読めます。



県議会公式 Twitter

県議会の最新情報を発信します。



県議会マスコット「ポッポ」

## 5月臨時会の概要

4月の県議会議員選挙後の新たな県議会構成を決めるため、5月23日(火)から5月24日(水)までの2日間にわたり開かれました。当日は、議長、副議長選挙のほか、各委員会の委員の選任などが行われました。また、補正予算なども審議され1件を可決、1件を承認、2件を同意しました。

## 6月定例会の動き

6月19日(月)から7月7日(金)までの19日間にわたり開かれました。

6月19日 開会日

知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。

6月23日・26日~29日 一般質問

15人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議がなされました。(2・3面)  
19日に提案された一部議案については、急を要するため、23日に常任委員会で審査が行われ、27日に委員長報告を経て、採決が行われました。

6月23日・7月3日 常任委員会

条例などの議案および請願の審査などが行われました。(6面)

7月5日 特別委員会

付託案件の審査が行われました。(6面)

7月7日 閉会日

各委員会の委員長報告を受けて討論・採決が行われました。

## 議長あいさつ



埼玉県議会議長 立石泰広



埼玉県議会副議長 岡田静佳

第127代埼玉県議会議長に就任いたしました立石泰広です。誠に身に余る光栄であり、心より感謝を申し上げますとともに、歴史と伝統のある埼玉県議会の議長という職責の重さに身が引き締まる思いであります。

さて、世界中で猛威を振るい、本県議会においても、3年以上にわたり対応を協議してまいりました新型コロナウイルス感染症は、5類移行という一つの節目を迎えました。しかしながら今後も、再度の感染拡大も念頭に置きつつ、県民の皆さまが安心して生活できるように取り組みを進めなければなりません。

また、私たちが乗り越えなければならない課題は山積しており、諸課題を解決するための鍵となるDX(デジタルトランスフォーメーション)も進めていく必要があります。

さらに、昨年度策定しました「埼玉県議会業務継続計画」の実効性を確保する防災訓練の実施など、非常時における議会機能の継続に万全を期してまいりたいと考えております。

二元代表制の一翼を担う県議会がその役割と責務を果たすことができるよう、これまで培った経験を生かし、公平、公正かつ円滑な議会運営に全力で努めてまいります。

県民の皆さまにおかれましては、今後とも県議会に対するより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 6月定例会の議決の概要

### 知事提出議案

- 埼玉県税条例の一部を改正する条例
  - 埼玉県公安委員会等が行う事務に関する手数料条例の一部を改正する条例
  - 埼玉県高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る信号機等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
  - 工事請負契約の変更契約の締結について(社会資本整備総合交付金(河川)工事(庄兵衛堀川・導排水路工))
- など6件を可決、そのほか6件に同意

### 議員提出議案

- 豪雨災害対策の更なる推進を求める意見書
  - アスベスト対策の拡充を求める意見書
  - 少子化対策における児童手当拡充に関する意見書
  - 北朝鮮による弾道ミサイルの発射に重ねて断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議
- など15件を可決





森伊久磨 (自民)



伊藤はつみ (共産党)



鈴木まさひろ (自民)



松本義明 (自民)



金野桃子 (県民)



尾花瑛仁 (自民)



権守幸男 (公明)



白根大輔 (民主フォーラム)



中屋敦慎一 (自民)

# 一般質問

6月定例会の一般質問は、6月23日から行われました。15人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議が行われました。



## 保健・医療

**A** 奨学金の貸与枠拡大が医師確保施策として最も効果が高いと考える。増額については応募倍率が高いことから、当面は現行の貸与額を維持。また脳外科、一般外科を選択した方は医師不足地域での勤務が返還免除要件となる。引き続き、地域枠の定数増などで医師確保を図っていく。

**Q** 昨年の6月議会でも地域枠の定数増と奨学金を月額25万円まで上げること、選択科目を小児科・産科・救命救急センターに脳外科と一般外科を加えることを提案した。知事は2期目の公約として、医療人材を確保するため奨学金制度の拡充を挙げていたが、それは何を意味するのか。

### 医師不足と知事公約について

**A** 自治医科大学附属さいたま医療センターを拠点に5病院が連携してコロナ以外の重症患者の診療支援も行われ、病院間の連携は進みつつある。新たに4病院を加えてカバー可能なエリアを広げる。現場ニーズや課題を整理し、診療科別のネットワーク構築の必要性について検討する。

**Q** 医療の地域偏在や診療科偏在などの改善のため、Tele-ICU(※1)などオンラインを活用した医療資源を積極的に効率利用すべき。将来は、診療科ごとに体系化され、複数の拠点と病院のネットワークが張り巡らされた状態を目指すべきと思うがどうか。

### オンラインを活用した医療資源の効率利用について

**A** ドクターカー導入には、各病院において、救急救命センターの機能を維持しつつ、乗車する人員の確保が必要となるため、運転手の経費や、ドクターカー・医療機器の購入費などの支援をしている。未導入の救命救急センターに支援メニューを周知し、丁寧に意見交換していく。

**Q** ドクターカーは、県内4か所で1台ずつ所有しているが、各ドクターカーのカバーするエリアが広範囲なため、県内全域で命の安全・安心が担保されていない。命とくらしに役立つ医療体制を実現すべく、県内の救命救急センターにドクターカーの導入を働き掛けるべきではないか。

### 県内各地域へのドクターカーの導入について

**A** 「こどもまんなか社会」の趣旨には大賛成であり、県民などと趣旨を共有するたため、官民連携で「たのしい子育て」を情報発信する「SATAI TAMA子育て応援フェスタ」を新たに開催し、「こどもまんなか社会」の機運を醸成していく。

**Q** こども家庭庁は、「こどもまんなか宣言」に共感・賛同し、自らも取り組む自治体などを「こどもまんなか応援サポーター」と位置づけている。知事も「こどもまんなか宣言」をしてはどうか。市町村や企業と連携して「こどもまんなか埼玉」として県全体で取り組む考えはないか。

### 異次元の少子化対策について「こどもまんなか宣言(※2)」を

**A** 全校共通の教育用アプリを担保している。通信環境のない校外学習などで利用できるよう、LTE端末を整備する学校もある。経済的に購入が困難な場合の貸出用端末も整備しており、分割払いなど購入しやすい方法も検討するよう学校を指導する。

**Q** 公立高校では、端末の金額や仕様が一様におらず、学校ごとに端末を整備している。このような状況で教育の標準化が担保されるのか。また、保護者負担の大きい高額なLTE端末は必要なのか、必要ならば保護者の負担軽減となる工夫が必要だと考えているのか。

### 生徒一人一台タブレット端末環境整備について



## 議員提案政策条例

**A** 先進的かつ九都府市が一体となつて取り組むことが効果的なものは、会議の場で積極的にアピールしていく。これまで、議員提案政策条例に関係する計画の策定、予算措置や人員配置などを行い、取り組みを推進してきた。今後条例の目的を達成すべく、県議会とも連携していく。

**Q** 先進的な議員提案政策条例を制定しても、周辺の都県に広がらなければ効果として不十分。横展開が必要を取り組みを九都府市首脳会議などの場面でアピールしていただきたいがどうか。また、これまで議員提案政策条例を根拠とする取り組みは、どのように推進されてきたのか。

### 議員提案政策条例について



## 災害対策

**A** 内水対策に課題を抱える20市1町とそれぞれ河川・下水道事業調整協議会を設置し、下水道整備と連携した対策を実施。一方、想定を上回る降雨には流域全体で取り組みを進める必要がある。国、県、市町村などによる流域治水協議会で関係者が協働して流域治水を推進している。

**Q** 水害対策は前進しているが、線状降水帯やゲリラ豪雨の発生により、東部地区では過去最大に等しい冠水が発生した。内水対策は市町村が担うが、これらの気候変動を踏まえると、排水機場増強や水路改修などに対して、県として関わりを大きくしていくべきと考えるがいかがか。

### 市町村の内水対策への県の関わり方について

**A** 同制度は、県と63市町村の合意による県独自の制度。災害による全壊・半壊が支給対象だが、対象を床上浸水まで拡大することは、全市町村の合意が得られていない。被災者生活再建支援法の整備がなされるまでは引き続き、本制度で生活再建への支援を継続する。

**Q** 6月2日からの大雨で道路冠水、農業被害等が発生した。また、床上浸水した住戸や事業所は多数に上る。埼玉県・市町村被災者安心支援制度は、地震などを想定した建物被害への制度である。この制度について、対象を床上浸水まで拡大した給付制度を作るべきと考えるがどうか。

### 埼玉県・市町村被災者安心支援制度について



## 交通

**A** 浦和美園から岩槻間を先行整備区間として取り組んでいる。事業の実現可能性を高めるため、さいたま市と共同して、需要予測調査などを実施し、課題の解決を進めている。蓮田までの延伸は事業性に課題があるが、地元市と連携し、課題の克服に向けて一つ一つ取り組んでいく。

**Q** 浦和美園から岩槻までの区間の延伸について、さいたま市長が、令和5年度中の鉄道事業者への要請を表明し、大きく動き始めたという。岩槻までの延伸に関する取り組み状況は、現在どうなっているのか。また、蓮田までの延伸について知事の決意を伺う。

### 地下鉄7号線の蓮田延伸について



## 人権

**A** 「性の多様性に関する理解の増進」相談体制の整備「暮らしやすい環境づくり」を二本柱とした取り組みを行っている。県と市町村の連携会議を立ち上げ、県の電子申請システムの活用や同性パートナーを対象とする制度や手続きの見直しなどの取り組みが広がるよう働き掛けていく。

**Q** 今もLGBTQの方々がさまざまな困難に直面しているが、今後、性の多様性を尊重した社会づくりをどう進めるのか。パートナーシップ制度申請時に来庁せず電子申請できるようにしたり、公営住宅の入居資格を認めるなどの行政サービスの早期の拡充が必要と考えるがどうか。

### 性の多様性を尊重した社会づくりについて



ホームページで  
ご覧になれます

一般質問の質疑質問・答弁の全文はこちらからご覧になれます。▶



本会議の様子

6月29日(木曜日)



日下部伸三 (自民)



木下博信 (自民)



松井 弘 (自民)



関根信明 (自民)



武田和浩 (民主フォーラム)



柿沼貴志 (自民)

6月28日(水曜日)

### その他の主な質疑・質問

- 生物多様性の保全・回復について
- あと数マイルプロジェクト 日暮里・舎人ライナーの延伸について
- 自転車乗用中のヘルメット着用について
- 原市沼調節池を核とした賑わいづくりについて
- トイレにおけるベビーキープ・ベビーチェアの二重ロックについて
- 知事公約・これからの4年にむけて 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの重要性
- 聴覚障がい者の国際大会「デフリンピック」の成功に向けた支援と共生社会のさらなる推進 総合的見解と支援の在り方について
- 高すぎる国民健康保険税を引き下げ、国保財政の健全な運営を図るために 国保公費負担割合を増やすために
- リノベーションまちづくりの取り組みについて
- あらゆる人が生き生きと活躍できる居場所と社会の実現にむけて
- 「ゾーン30プラス」の整備・拡充について
- さいたまスーパーアリーナの大規模改修 改修計画について
- 知事公約・これからの4年間にむけた「子育て支援」について
- 知事公約 これからの4年に向けて アニメ観光の推進 メディア芸術ナショナルセンターについて
- 新型コロナウイルス感染症への対応 自粛要請(BA.5対策強化宣言)の検証について

### 用語解説

- ※1 Tele-ICU  
集中治療専門医が常駐する支援センターと複数の医療機関のICUをネットワークで接続し、患者のバイタル情報やリアルタイム映像、電子カルテ情報を共有することで、遠隔での診療を支援するシステム。
- ※2 こどもまんなか宣言  
こどもたちのために何がもっともよいことを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できるような社会の実現を目指す宣言。  
※なお、6月30日に大野元裕知事は、「こどもまんなか応援サポーター」を宣言した。
- ※3 渋沢栄一創業プロジェクト  
新産業の創出や地域経済の活性化を促進するため「渋沢栄一創業プロジェクト」と題し、日本経済の発展に大きく貢献した渋沢翁の理念を受け継ぎ、起業家や起業希望者、ベンチャー企業を支援するプロジェクト。
- ※4 物流の2024年問題  
働き方改革関連法によりドライバーの労働時間に上限が課されることで生じる問題のこと。具体的には、ドライバーの時間外労働時間が年間960時間に制限されることで、一人当たりの走行距離が短くなり、長距離でモノが運ばなくなると懸念されている。さらに、物流・運送業界の売上減少、トラックドライバーの収入の減少なども考えられる。
- ※5 スマート農業  
ロボット技術や情報通信技術(ICT)等を活用して、省力化・精密化や高品質生産の実現等を推進している農業。
- ※6 ICT  
「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略で、通信技術を活用したコミュニケーションを指す。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。



### 産業

**Q** 新紙幣発行に伴う県の対応について 渋沢栄一創業プロジェクト(※3) 立上げについて

**A** 記念館などを訪問するバツプアー等を企画し、観光振興につながるよう、機運の盛り上げに取り組んでいく。創業プロジェクトについては、交流の場となるサロンを令和6年度に開設する。サロンでさまざまな起業家や異業種企業の交流を促進し、経済の活性化を行っていききたい。

**Q** 渋沢栄一翁が肖像の新一万円札が来年度発行になるが、県は機運の盛り上げにどう取り組むか。また、渋沢栄一創業プロジェクトを立ち上げ、伴走型の創業支援や、起業家や異業種企業が交流できる場をつくるとしているが、このプロジェクトをどのように展開していくのか伺う。

**Q** 商工団体が主に支援する小規模事業者の数は廃業や閉店で減少傾向。商工団体に加入しない事業者も少なくない。大型店・チェーン店に地域貢献を求めて加入を働き掛けても理解が得られない。現状での商工団体の役割・在り方をどう考え、県としてどのような支援を行うのか。

**A** 商工団体は、事業者支援や行政を補完する役割が求められる。支援機能を強化し、必要とされる組織として地域経済を支えてもらいたい。県は各団体への人件費補助や会員の増加数など実績に応じた補助を行っている。効果的な補助制度について協議会を設置し、議論を重ねている。

**Q** これからの商工会・商工会議所の在り方について

**A** 商工団体が主に支援する小規模事業者の数は廃業や閉店で減少傾向。商工団体に加入しない事業者も少なくない。大型店・チェーン店に地域貢献を求めて加入を働き掛けても理解が得られない。現状での商工団体の役割・在り方をどう考え、県としてどのような支援を行うのか。

**Q** 来年4月、トラック運転手の時間外労働の上限が年間960時間に規制される。物流業界の人材確保は最重要課題。人材確保や運賃・料金の適切な価格転嫁を求める取り組み、配達員の負担軽減につながる取り組みの県民への呼び掛けも必要と考えるが見解を伺う。

**A** 人材確保のため、助成金による支援や面接会によるマッチングを行っている。一方、少ない人員でも対応できるようデジタル技術を活用した業務の効率化も支援している。また、標準的な運賃の届出率向上や受注者の価格交渉を支援。さらに、置き配などの取り組みを周知していく。

**Q** 物流の2024年問題(※4)

**A** 人材確保のため、助成金による支援や面接会によるマッチングを行っている。一方、少ない人員でも対応できるようデジタル技術を活用した業務の効率化も支援している。また、標準的な運賃の届出率向上や受注者の価格交渉を支援。さらに、置き配などの取り組みを周知していく。



### 環境

**Q** 建設残土の山は、地域の景観を損ない、田畑に悪影響を与え、大雨が降れば土砂崩れで、人命に影響を与え、可能性がある。残土などの山ができないようなどのような対策を講じているのか。子どもたちの未来のため、このような負の遺産を減らすためにどう対応するのか。

**A** 厳格な審査や現地確認などのほか、市町村と、監視、指導を行っている。また、休日、夜間は民間警備会社が監視するほか、不法投棄110番で県民から24時間365日通報を受け付けている。違法に山を作った者には改善指導や撤去などの措置命令を発し、責任を追及していく。

**Q** 建設残土の山は、地域の景観を損ない、田畑に悪影響を与え、大雨が降れば土砂崩れで、人命に影響を与え、可能性がある。残土などの山ができないようなどのような対策を講じているのか。子どもたちの未来のため、このような負の遺産を減らすためにどう対応するのか。

**A** 厳格な審査や現地確認などのほか、市町村と、監視、指導を行っている。また、休日、夜間は民間警備会社が監視するほか、不法投棄110番で県民から24時間365日通報を受け付けている。違法に山を作った者には改善指導や撤去などの措置命令を発し、責任を追及していく。



### 農業

**Q** 狭山茶産地の維持発展の推進を強化すべき。県茶業研究所は、既にICT(※6)技術などを生産に活用する実証実験を行っており、その成果を生産者へ周知することが重要。実証実験を始めた背景は何か。それによりどのような狭山茶産地を目指すのか。

**A** さまざまな気象状況下でも的確な茶園管理ができる、生産作業の負担を軽減するため、ICT技術を活用した茶園管理システムの構築に取り組んでいる。これらを通じ、生産者がさまざまな気象条件下でもお茶を安定生産でき、収益性の高い狭山茶産地にすることを目指している。

**Q** 狭山茶産地の維持発展の推進を強化すべき。県茶業研究所は、既にICT(※6)技術などを生産に活用する実証実験を行っており、その成果を生産者へ周知することが重要。実証実験を始めた背景は何か。それによりどのような狭山茶産地を目指すのか。

**A** さまざまな気象状況下でも的確な茶園管理ができる、生産作業の負担を軽減するため、ICT技術を活用した茶園管理システムの構築に取り組んでいる。これらを通じ、生産者がさまざまな気象条件下でもお茶を安定生産でき、収益性の高い狭山茶産地にすることを目指している。

狭山茶振興とスマート農業(※5)



ぜひ、ご覧ください!!



本会議の様子はインターネット中継でご覧になれます。左の二次元コードからアクセスできます。



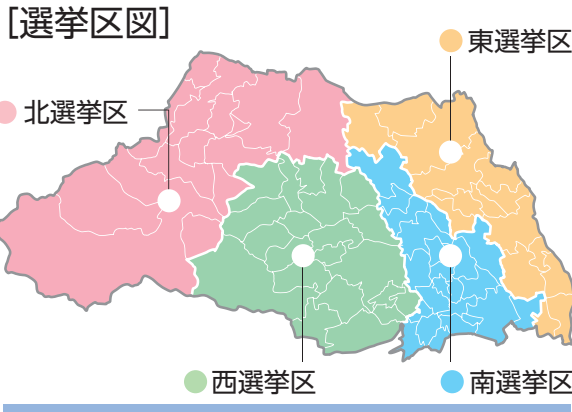


# 埼玉県議会

# 議員名簿

定数93・選挙区(51)別  
立候補届け出順に掲載しています。

<b>南第2区 川口市(定数7)</b> 文教委員 地方創生・行政改革特別委員 山崎すなお 共産党 永瀬秀樹 自民 総務民生部副委員長 地方創生・行政改革特別委員長	<b>南第1区 草加市(定数3)</b> 福祉保健医療委員 地方創生・行政改革特別委員長 中村美香 維新 木下博信 自民 企画財政委員 公社事業対策特別委員	蒲生徳明 公明
<b>南第6区 さいたま市見沼区(定数2)</b> 企画財政委員 地方創生・行政改革特別委員 田村琢実 自民 武田和浩 民主フォーラム 警察危機管理防災委員 地方創生・行政改革特別委員	<b>南第5区 さいたま市大宮区(定数1)</b> 企画財政委員 公社事業対策特別委員長 藤井健志 自民	<b>南第4区 さいたま市北区(定数2)</b> 議会議務委員 企画財政委員 地方創生・行政改革特別委員 小川寿士 民主フォーラム 関根信明 自民 福祉保健医療委員 経済・雇用対策特別委員
<b>南第13区 上尾市・伊奈町(定数3)</b> 文教委員 公社事業対策特別委員 町田皇介 民主フォーラム 尾花瑛仁 自民 企画財政委員 公社事業対策特別委員	<b>南第12区 さいたま市岩槻区(定数1)</b> 議会議務委員 環境農林委員 公社事業対策特別委員 図書室委員 小島信昭 自民	<b>南第11区 さいたま市緑区(定数1)</b> 県土都市整備委員 経済・雇用対策特別委員 高橋政雄 自民
<b>南第21区 朝霞市(定数2)</b> 議会議務委員 総務民生部生活委員 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員 松井弘 自民	<b>南第20区 戸田市(定数2)</b> 議会議務委員 企画財政委員 少子・高齢福祉社会対策特別委員長 細田善則 自民 企画財政委員 自然再生・循環社会対策特別委員	<b>南第19区 蕨市(定数1)</b> 議会議務委員 総務民生部生活委員 危機管理・大規模災害対策特別委員 保谷武 自民
<b>西第4区 狭山市(定数2)</b> 産業労働企業委員 危機管理・大規模災害対策特別委員 中川浩 改革 東山徹 自民 文教委員 少子・高齢福祉社会対策特別委員	<b>西第3区 飯能市(定数1)</b> 県土都市整備委員 自然再生・循環社会対策特別委員長 図書室委員 内沼博史 自民	<b>南第18区 新座市(定数2)</b> 環境農林副委員長 少子・高齢福祉社会対策特別委員 安藤友貴 公明
<b>西第11区 鶴ヶ島市(定数1)</b> 環境農林委員 自然再生・循環社会対策特別委員 長峰秀和 自民	<b>西第10区 坂戸市(定数1)</b> 議会議務委員 環境農林委員 危機管理・大規模災害対策特別委員 小川直志 自民	<b>南第18区 新座市(定数2)</b> 議会議務委員 環境農林副委員長 少子・高齢福祉社会対策特別委員 松本義明 自民
<b>北第3区 深谷市・美里町・寄居町(定数3)</b> 産業労働企業委員 自然再生・循環社会対策特別委員 神尾高善 自民 議会議務委員 環境農林委員 危機管理・大規模災害対策特別委員	<b>北第2区 本庄市・神川町・上里町(定数2)</b> 環境農林委員 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員長 小川真一郎 自民 警察危機管理防災委員 地方創生・行政改革特別委員 監査委員	<b>西第8区 日高市(定数1)</b> 福祉保健医療委員 危機管理・大規模災害対策特別委員 小谷野五雄 自民
<b>東第4区 久喜市(定数2)</b> 環境農林委員 少子・高齢福祉社会対策特別委員 石川忠義 自民	<b>東第3区 加須市(定数2)</b> 議会議務委員 企画財政副委員長 少子・高齢福祉社会対策特別委員 千葉達也 自民 環境農林委員 地方創生・行政改革特別委員	<b>西第7区 川越市(定数4)</b> 議会議務委員 環境農林委員 経済・雇用対策特別委員 渋谷真実子 自民
<b>東第8区 越谷市(定数4)</b> 福祉保健医療委員 自然再生・循環社会対策特別委員 辻浩司 民主フォーラム 企画財政委員 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員 細川威 民主フォーラム 文教委員 危機管理・大規模災害対策特別委員長	飯塚俊彦 自民 高橋稔裕 自民 浅井明 自民	



会派別所属議員数	
会派名(略称)	議員数
埼玉県議会自由民主党議員団(自民)	58人
埼玉民主フォーラム(民主フォーラム)	12人
埼玉県議会公明党議員団(公明)	9人
無所属県民会議(県民)	7人
日本共産党埼玉県議会議員団(共産党)	3人
無所属改革の会(改革)	1人
日本維新の会(維新)	1人
無所属	2人
<b>計</b>	<b>93人</b>

令和5年7月26日現在



<b>南第3区 さいたま市西区(定数1)</b>  <b>日下部伸三</b> <small>自民</small> <small>福祉保健医療委員 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員 図書室委員</small>		<b>南第2区 川口市(定数7)</b>  <b>立石泰広</b> <small>自民</small> <small>議長 県土都市整備委員</small>	
<b>南第10区 さいたま市南区(定数2)</b>  <b>木村勇夫</b> <small>民主フォーラム</small> <small>議会運営委員 環境農林委員 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</small>		<b>南第9区 さいたま市浦和区(定数2)</b>  <b>高木功介</b> <small>自民</small> <small>産業労働企業委員 危機管理・大規模災害対策特別委員 図書室副委員長</small>	
<b>南第18区 新座市(定数2)</b>  <b>平松大佑</b> <small>県民</small> <small>文教委員 地方創生・行政改革特別委員 図書室委員</small>		<b>南第17区 志木市(定数1)</b>  <b>鈴木正人</b> <small>自民</small> <small>議会運営委員 総務県民生活委員 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</small>	
<b>南第16区 鴻巣市(定数2)</b>  <b>中屋敦慎一</b> <small>自民</small> <small>議会運営委員 総務県民生活委員 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</small>		<b>南第15区 北本市(定数1)</b>  <b>金子裕太</b> <small>自民</small> <small>議会運営委員 企業財政委員 公社事業対策特別委員</small>	
<b>西第1区 所沢市(定数4)</b>  <b>岡田静佳</b> <small>自民</small> <small>副議長 警察危機管理防災委員 少子高齢福祉社会対策特別委員</small>		<b>南第22区 和光市(定数1)</b>  <b>井上航</b> <small>県民</small> <small>議会運営委員 企業財政委員 公社事業対策特別委員</small>	
<b>西第7区 川越市(定数4)</b>  <b>山根史子</b> <small>民主フォーラム</small> <small>産業労働企業委員 危機管理・大規模災害対策特別委員 図書室委員</small>		<b>西第6区 富士見市(定数1)</b>  <b>八子朋弘</b> <small>県民</small> <small>議会運営委員 福祉保健医療委員 危機管理・大規模災害対策特別委員 図書室委員</small>	
<b>北第2区 本庄市・神川町・上里町(定数2)</b>  <b>齊藤邦明</b> <small>自民</small> <small>総務県民生活委員 経済・雇用対策特別委員</small>		<b>西第5区 ふじみ野市・三芳町(定数2)</b>  <b>伊藤はつみ</b> <small>共産党</small> <small>議会運営委員 警察危機管理防災委員 自然再生・循環社会対策特別委員</small>	
<b>北第1区 秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町・東秩父村(定数2)</b>  <b>阿左美健司</b> <small>自民</small> <small>文教委員 自然再生・循環社会対策特別委員</small>		<b>西第12区 東松山市・川島町・吉見町(定数2)</b>  <b>松川雅也</b> <small>自民</small> <small>産業労働企業委員 危機管理・大規模災害対策特別委員</small>	
<b>東第2区 羽生市(定数1)</b>  <b>諸井真英</b> <small>自民</small> <small>警察危機管理防災委員 少子高齢福祉社会対策特別委員</small>		<b>北第3区 深谷市・美里町・寄居町(定数3)</b>  <b>江原くみ子</b> <small>無所属</small> <small>環境農林委員 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</small>	
<b>東第7区 春日部市(定数3)</b>  <b>権守幸男</b> <small>公明</small> <small>総務県民生活委員 経済・雇用対策特別委員長</small>		<b>東第6区 白岡市・宮代町(定数1)</b>  <b>渡辺聡一郎</b> <small>自民</small> <small>福祉保健医療委員 地方創生・行政改革特別委員</small>	
<b>東第1区 行田市(定数1)</b>  <b>柿沼貴志</b> <small>自民</small> <small>福祉保健医療副委員長 公社事業対策特別委員</small>		<b>東第5区 蓮田市(定数1)</b>  <b>森伊久磨</b> <small>自民</small> <small>県土都市整備委員 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</small>	
<b>東第12区 吉川市・松伏町(定数1)</b>  <b>松澤正</b> <small>自民</small> <small>総務県民生活委員 公社事業対策特別委員長</small>		<b>東第4区 久喜市(定数2)</b>  <b>梅澤佳一</b> <small>自民</small> <small>企業財政委員 少子・高齢福祉社会対策特別委員</small>	
<b>東第11区 幸手市・杉戸町(定数1)</b>  <b>吉良英敏</b> <small>自民</small> <small>産業労働企業委員 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員長</small>		<b>東第9区 八潮市(定数1)</b>  <b>宇田川幸夫</b> <small>自民</small> <small>議会運営委員 県土都市整備副委員長 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員 図書室委員</small>	
<b>東第10区 三郷市(定数2)</b>  <b>逢澤圭一郎</b> <small>自民</small> <small>産業労働企業副委員長 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員</small>		<b>東第8区 越谷市(定数4)</b>  <b>橋詰昌児</b> <small>公明</small> <small>議会運営委員 県土都市整備副委員長 人材育成・文化・スポーツ振興特別委員 図書室委員</small>	



# 委員会 レポート

6月23日、7月3日に常任委員会を開き、条例などの議案の審査などを行いました。審査の結果、議案6件を原案の通り可決すべきものと決定しました。また、請願1件を不採択とすべきものと決定しました。7月5日には特別委員会を開き、付託案件の審査を行いました。

## 議会運営委員会

6月12日と定例会中の5日間、会議を開き、本会議を円滑かつ効率的に進行するため、議事日程、質疑質問者の人数、採決の方法や順序などについて会派間の協議を行いました。



千葉達也  
副委員長



細田善則  
委員長



萩原一寿  
副委員長



## 特別委員会

### 自然再生・循環社会対策 特別委員会

河川環境の保全・共生について審査

### 地方創生・行財政改革 特別委員会

地方分権改革および魅力ある地域づくりについて審査

### 公社事業対策特別委員会

県の公社指導について、(公財)埼玉県産業文化センター、(公財)埼玉県産業振興公社、埼玉県下水道公社における改革の取り組みについて審査

### 少子・高齢福祉社会対策 特別委員会

障害者への支援および新型コロナウイルス感染症への対応状況について審査

### 経済・雇用対策特別委員会

埼玉県経済の動向と経済・雇用対策について審査

### 危機管理・大規模災害対策 特別委員会

大規模災害時の対応について審査

### 人材育成・文化・スポーツ 振興特別委員会

教育改革について審査

## 常任委員会

### 企画財政委員会

マイナンバーをめぐるトラブルについて

**Q** 国は、マイナンバーの情報を秋までに総点検するとしたが、一部の自治体から点検スケジュールについて懸念が表明されている。県は、どのように受け止めているのか。

**A** 現時点で全体の事務量を見通すことは困難だが、点検作業を効率的に進められるよう、庁内の関係各課で連携しながら対応していく。

### 産業労働企業委員会

埼玉県感染防止対策協力金について

**Q** 協力金を受領した後に閉店している飲食店を見かけるが、そのような店舗の数を把握しているのか。

**A** 彩の国『新しい生活様式』安心宣言飲食店+プラス認証店を対象とした遵守状況に係る追跡調査結果を踏まえ、協力金を受給した後に閉店したとみられる店舗は1,000店舗未満ではないかと考えている。

### 総務県民生活委員会

埼玉県税条例の一部を改正する条例について

**Q** これまでの自動車税環境性能割の燃費基準の達成度合いも十分な水準であったと思うが、それをさらに引き上げるのはどのような趣旨か。

**A** 2035年までに国内での新車販売における電動車割合100%という政府目標を達成するため、全国一律の税制において、段階的に引き上げていくものである。

### 県土都市整備委員会

県営水上公園の利用許可について

**Q** 新たな利用条件について、専門家を交え策定していくことだが、どのような体制を進めていくのか。

**A** 本年9、10月の水着撮影会は、しらかばと水上公園の許可条件を基本とし、関係法令などの遵守項目を追加し運用する。令和6年度以降の利用条件は、専門家を交えて検討していくことを想定している。

### 環境農林委員会

不法残土などの対策について

**Q** 令和3年度に実施された、盛土による災害防止のための総点検後、不法盛土を未然に防ぐことができた件数はどれくらいか。

**A** 土砂条例に関するものは5件。情報を入手したら速やかに、土地所有者に対し悪質事業者の事例を説明し協力を求めるとともに、地元の警察や農業委員会などに対応している。

### 文教委員会

埼玉県立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例について

**Q** 補償基礎額は休業補償などの額の算定基礎になることだが、補償基礎額の改定により、休業補償以外にどのような補償に影響があるのか。

**A** 休業補償以外としては、傷病補償、障害補償、遺族補償および、葬祭補償について、補償基礎額を基礎として補償額が算出されるため影響がある。

### 福祉保健医療委員会

埼玉県手数料条例の一部を改正する条例

**Q** 改正条例の施行日はいつか。また、施行日まで保育士試験における科目の全部免除申請を行った方は何名いるのか。

**A** 施行日は7月11日を予定している。全部免除については、4月17日から同月27日までの受付期間において、32名から申請があった。

### 警察危機管理防災委員会

「令和元年東日本台風対応に対する検証を踏まえた、令和5年6月2日からの大雨及び台風第2号への対応と課題」について

**Q** 今回の大雨などについて、市町村に対して具体的にどのような支援を行ったのか。

**A** 大雨の前日から、気象台などと連携し説明会を開催。災害発生後は、職員をリ工ゾーンとして派遣し、被害状況等を聴取した。また、災害救助法適用により発生する事務手続や住家被害認定調査に関する説明会を開催した。

## 意見書・決議

意見書 12 件を可決し、国に提出しました。また、決議を 1 件全会一致で可決しました。(●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決)

- 豪雨災害対策の更なる推進を求める意見書
- アスベスト対策の拡充を求める意見書
- 北朝鮮による全ての拉致被害者等の即時一括帰国を求める意見書
- 警察官の増員を求める意見書
- 警察車両の充実強化を求める意見書
- 産前・産後ケアの拡充を求める意見書
- 少子化対策における児童手当拡充に関する意見書
- 森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

- 特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書
- 生物多様性の保全・ネイチャーポジティブの対策の強化を求める意見書
- 薬剤耐性菌感染症のまん延防止の取組体制強化を求める意見書
- 適格請求書等保存方式(インボイス制度)の円滑な導入に向けた事業者支援の強化等を求める意見書
- 北朝鮮による弾道ミサイルの発射に重ねて断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議



# 主要会派から ~6月定例会~



埼玉県議会自由民主党議員団  
団長 田村 琢実

今定例会では、わが党から10人の議員が登場し、皆さまの暮らしに関わる条例や県政の重要課題について、62項目にわたり質疑・質問を行いました。

まず、本県議会が積極的に進んでいる議員提案政策条例について、九都県市首脳会議などの場面で積極的にどうアピールしていくのか、知事に質問しました。また、議員提案政策条例に対する基本的な捉え方や、議員提案政策条例の狙いを達成するために、知事が行ってきた代表的な取り組み事例について質問しました。

このほかにも、生物多様性の保全・回復、医師不足解消のための奨学金制度、治水対策など、多岐にわたり質問しました。

私たち埼玉県議会自由民主党議員団は、現状の社会的課題を直視するとともに、県民一人ひとりが輝くソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)の考えのもと、これまでに培ってきた政策立案機能を強化し、県民の皆さまのご意見・ご要望に寄り添う積極的な施策の推進を図ってまいります。



埼玉県民主フォーラム  
代表 田並 尚明

県民の皆さまには、日頃より県政運営にご理解ご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も5月より5類となりましたが、長期化するエネルギー価格や物価高騰などの影響により事業者さま、県民の皆さまの生活はまだまだ厳しい状況に置かれていること存じます。

また、6月2日から3日にかけての大雨および台風第2号の影響によって、県南東部を中心に大きな被害が発生しました。会派としては大野知事に「台風第2号に伴う大雨被害に関する要望書」を提出したところです。

6月定例会では、白根大輔議員が「日暮里・舎人ライナーの延伸」など12項目、武田和浩議員が「県内各地域へのドクターカーの導入について」など10項目の一般質問を行い、知事をはじめ執行部と有意義な議論を展開いたしました。

今後とも知事の政策目標である「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現するため、会派一丸となって働いてまいります。



埼玉県議会公明党議員団  
団長 蒲生 徳明

今定例会の一般質問には権守幸男議員が立ちました。権守議員は、物流業界の2024年問題について人材確保対応を質問。

知事は、「企業人材サポートデスク」において人手不足業界に特化し、物流業界向けにも面接会や業界セミナーを実施しているほか、若者に対する物流業界の魅力を伝える企業説明会の開催や、より少ない人員でも対応できるように、業務の見直しと効率化のためデジタル技術の導入に向けた相談やIT企業とのマッチングなどを行っていること答弁。

また、災害時の被害情報の収集で正確性とスピードのバランスをどう取るのかを質問。危機管理防災部長から、災害時の迅速な被害情報報告の重要性について、市町村担当会議や図上訓練の場で周知していく旨答弁がありました。その他、現場感に立った質問を展開しました。

今定例会では、新人2人を含む全員が、委員会での質問に全力で取り組みました。これからも公明党議員団はごきょうも現場主義で、県民の声の実現のために全力を尽くしてまいります。



無所属県民会議  
代表 井上 航

はじめに、本年6月2日からの大雨及び台風第2号により被災された皆さまに会派を代表して心よりお見舞い申し上げます。一日も早い生活再建を心よりお祈り申し上げます。

さて、6月定例会は新たな任期で迎える初の定例会です。会派一同、身の引き締まる想いで臨みました。

一般質問には、戸田市選出の金野桃子議員が立ち、子育て政策の充実や豪雨災害対策などを取り上げました。会派では被害の大きかった越谷市などの現場を視察し、課題としてあがってきた内水被害の軽減に向けて、河川管理者である県と市町村との連携体制を一層整えるべき、と提言しました。すると1週間後の県土都市整備委員会において、9月頃までに市町村の内水ポンプの運転ルールなどを点検する考えが示され対策が前進しました。今後も県民の防災推進の一助となるように取り組んでいきます。

無所属県民会議はこれからも県民の声に耳を傾け、会派一丸となって活動を続けてまいります。



日本共産党埼玉県議員団  
団長 城下 のり子

本定例会では会派を代表して伊藤はつみ議員が一般質問に立ちました。6月2日からの大雨被害について、床上浸水は法の支援対象外となっているため県の制度拡大を求め、さらに、今年度から始まった県立高校入学時のタブレット購入について、全額公費での購入と経済的理由で購入困難な場合の貸し出し制度の周知徹底を求めました。

また、国保の準統一化に向けて、県の運営方針原案が公表されていますが、子どもの均等割減免などの市町村独自の減免まで後退させてしまう統一化は中止すべきと求めました。

知事提出議案では電動キックボードの規制を大幅に緩和する条例案が提出され、会派として「条例によって歩行者との接触リスクが高まる。人の命を危険にさらす規制緩和は認められない」と反対しました。

その他、「消費税を5%に引き下げる意見書」の提出を求める請願の紹介議員となりました。引き続き、県民の皆さまの命と暮らしを守るために全力を尽くしてまいります。

**埼玉県議会委員会規程の一部を改正しました**

委員会へのオンライン出席の特例に「育児、介護などのやむを得ない事由」を追加するため改正されました。

県議会では議員活動と育児、介護などの両立のため、育児、介護などやむを得ない事由により委員会への招集が困難な委員に対し、委員会へのオンラインによる出席が行えるようにしました。

**埼玉県議会における服装について**

6月定例会から、県議会では本会議や委員会などにおける服装について、各議員が良識をもって判断することになりました。

これは県議会として、多様性への配慮や個性の尊重に資するとともに、地球温暖化対策および省エネルギーのさらなる推進を図るために取り組むものです。

**県議会広報テレビ番組 テレ玉(地デジ3チャンネル)**

**「こんにちは県議会です」** 日曜日 午前10時から

県議会に関するさまざまな情報を分かりやすく紹介しています。番組の最後にはプレゼントコーナーもあります。ぜひご覧ください！

放送予定日

主要会派代表者に聞く : 常任委員会だより

8月27日(10時~10時30分) : 9月24日(10時~10時30分)

詳しい放送スケジュールは、随時ホームページでお伝えいたします。

**夏のフォローキャンペーンを 9月1日(金)まで開催中!**

現在、埼玉県議会公式 Twitter では素敵なプレゼントが当たるフォローキャンペーンを開催中! ぜひご参加ください。

応募方法

- ① 県議会公式 Twitter (@saitamakengikai) をフォロー
- ② フォローキャンペーンのツイートをリツイートしてくださいね!

県議会公式 Twitterはこちら

賞品: 30名様 クオカード 1,000円分 (※30名様に当たる)

応募期間: 9月1日(金) 23:59まで

**県議会クイズ** Q 〇〇に当てはまる数字は何でしょう。 現在県議会では、第〇〇回埼玉県議会フォトコンテストの作品を募集中です!

はがきに下記のようにご記入の上、8月24日(木)(当日消印有効)までにお送りください。正解者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。対象は、埼玉県内に在住・在勤・在学している方のみとなります。

63円 〒330-9301 埼玉県議会事務局 政策調査課 「県議会クイズ」係

1. クイズの答え
2. 郵便番号
3. 住所
4. 通勤通学先の市町村名(県外にお住まいの方のみ)
5. 氏名・年齢
6. 希望するプレゼント
7. 埼玉県議会だよりに関するご意見

**プレゼント** 図書カード(1,000円分)… 20名様

**ヒント** 8面をよ〜く読んでね!

県議会ホームページからもご応募いただけます。

【個人情報の取り扱い】 応募はがきは、抽選とプレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。



# 立石泰広 議長と岡田静佳 副議長に聞く

## 政治家を志したきっかけをお聞かせください。

**立石泰広議長**… きっかけは幼少期にあります。小さい頃、祖父母の家に遊びに行くと、時々、ホームレスが訪れ、祖母がホームレスにおにぎりを作ってあげていました。困っている人がいれば助ける、できる人ができることをするという事を見て育ったことが、きっかけの一つです。

また、青年会議所で活動をするうちに、議員になって、地域や人のために何かできないかと思い、29歳で選挙に挑戦し、議員生活がスタートしました。



立石泰広議長

**岡田静佳副議長**… 政治家を志したきっかけは、一般市民の皆さんの声を耳を傾け、その声を市政に届けたいと思い、29歳の

時に、所沢市議会議員に立候補しました。

## 座右の銘は何ですか？

**立石泰広議長**… 吉田松陰先生の名言である「至誠」という言葉です。「至誠」とは、きわめて誠実なことを言います。また、「まごころ」という意味もあります。この「至誠」という言葉を常に自分の根本に置いて、活動しています。

**岡田静佳副議長**… 座右の銘というか、「しずかは静かにしていません!」をモットーに活動しています。県民の皆さまのご期待にお応えできるよう、しっかり声をあげて頑張りたいと思っています。



岡田静佳副議長

## 今後の抱負

**立石泰広議長**… 新たな93名の議員で構成された埼玉県議会であります。多くの新人の方も当選し、私と一緒に、議会運営の先頭に立つ副議長も県政史上初めて女性になりました。男女で協働して県議会を前進させる絶好の機会と考えています。昨年、議事堂に女性専用の休養室を設置し、環境の整備を進めてきましたが、傍聴席に子どもを連れて傍聴できるスペースはありません。副議長と意見交換し、課題を洗い出し、改善できるよう改革をしていきたいと思っています。

**岡田静佳副議長**… 二元代表制の一翼を担う我々県議会が、知事をはじめとする執行部の監視を行うのみならず、積極的かつ能動的に政策提言をすることによって責任を果たしていくことが重要であると考えます。そして、立石議長と共に公正かつ円滑な議会運営に努め、県政の更なる発展のために全力で取り組んでいきます。

2023.09.01 am 11:58 START  
シェイクアウト埼玉  
認定番号 230045号



日本シェイクアウト提唱会議の認定を受けています。



# シェイクアウト埼玉 にぜひ参加登録をお願いします。

## シェイクアウト訓練とは

2008年にアメリカカリフォルニア州で始まった、短時間で、誰でも、どこにいても実施できる防災訓練です。時間になりましたら、それぞれの自宅・学校・職場等で訓練を実施してください。主催者からの合図はありません。

## シェイクアウト+1(プラスワン)訓練

シェイクアウト訓練のあとは、さらにプラスワンの取り組みとして、災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用などをしてみましょう。(災害用伝言ダイヤルは防災週間や毎月1日と15日などに体験利用できます)

## 埼玉県議会ホームページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-shakeout/index.html>

詳細はこちら



## 参加方法① 電子申請サービスで登録

パソコン・スマートフォンからお申し込みください。

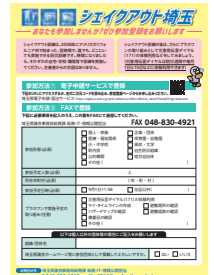


## 参加方法② FAXで登録

登録様式はHPからダウンロードできます。必要事項を記入のうえ、送信してください。

埼玉県議会事務局総務課 総務・IT・情報公開担当  
FAX 048-830-4921

登録をいただいた場合、ご希望により団体名をHPに掲載します



## 一般写真部門

テーマA 埼玉の「四季」  
テーマB 自由(フリーテーマ)

埼玉県議会議長賞……………2点(A・B各1点)  
埼玉県議会副議長賞……………2点(A・B各1点)  
入選……………14点(A・B各7点)

## A4または四つ切り(ワイド可)

\*上記以外のサイズ(サービス判など)は受け付けできません。

募集チラシ裏面の応募用紙(コピー可)を作品の裏に貼付して、下記送付先宛てに郵送していただくか、直接お持ちください。  
募集チラシは、県議会事務局や各市町村などでお配りしているほか、県議会ホームページからもダウンロードできます。

## 作品送付先

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1  
埼玉県議会事務局 政策調査課 広報担当

## 第19回 埼玉県議会 フォトコンテスト 作品募集中!

応募締め切り  
**11/10**  
金曜日



どなたでもご応募いただけます! 複数の応募も可能です!

入賞作品の中から、「埼玉県議会だより」の表紙や県議会ホームページなどに使用する写真を選ばせていただきます。

## 応募条件

- ・令和3年1月1日以降に撮影された未発表のもの
- ・埼玉県内で撮影されたもの
- ・合成写真、組写真は不可
- ・カラー写真(セピアなどは不可)

## モバイル写真部門

テーマA 埼玉の「四季」  
テーマB 埼玉の「○(まる)」

ベストショット賞……………2点(A・B各1点)  
入選……………4点(A・B各2点)  
特別賞……………若干数

## 携帯電話、スマートフォンで撮影された2~5メガ程度の画像データ(JPEG)

下記の二次元コードからメールアプリを起動し、メール本文に記載された項目を入力して、応募作品を添付して送付してください。

\*県議会ホームページからもご応募できます。  
\*特別賞は30歳未満の方の作品が対象です。

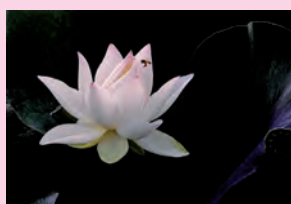
## 作品送付先

宛先:s-gikai@bz04.plala.or.jp  
件名:県議会フォトコンテスト応募

メールアプリが起動します▶



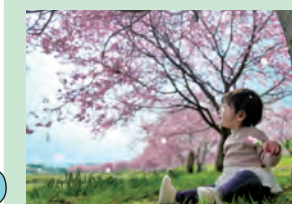
議長賞  
「思いに残った」



議長賞  
「そっと近づく…」

## 第18回 入賞作品

県議会マスコット「ポッポ」



ベストショット賞  
「春満喫」



ベストショット賞  
「ハムスター可愛いね」

